

第4回立命館大学嗜好品研究会

「甘味」から嗜好品とは何かを考えるーフランスとイタリアの事例ー

日時 : 2019年7月13日(土) 13:30~17:00

スケジュール : 13:00~ 開場
13:30~ 開会挨拶
13:40~ 「イタリア・ピエモンテ州の『チョコレート』
ージャンドウイオットとヌテッラー」
中島梓氏(立命館大学非常勤講師)
14:40~ 休憩
15:00~ 「フランス料理における甘味
ー塩味と甘味はいつ分離したか?ー」
八木尚子氏(辻静雄料理教育研究所)
16:00~ 休憩
16:20~ フリーディスカッション
17:00~ 終了

会場 : 立命館大学大阪いばらきキャンパスB棟3階コロキウム
(立命館いばらきフューチャープラザ内)

【講師紹介】

* 中島梓氏 *

立命館大学・京都女子大学非常勤講師。立命館大学文学研究科博士課程修了(博士 文学)
専門は近代イタリア文化・文学。

サラ・ポーエン『ブランド化されたテキーラ』(*Divided Spirits: Tequila, Mezcal, and the Politics of Production*) 共訳書、ミネルヴァ書房、2019年12月刊行予定。

* 八木尚子氏 *

辻静雄料理教育研究所副所長。大阪市立大学文学部西洋文学科卒。

専門はフランス料理史、ワインの歴史。

主な著書に『フランス料理と批評の歴史』(中央公論新社 2010年)、『教養のフランス近現代史』
(共著、ミネルヴァ書房 2015年)。

※お申込みは、①お名前(ふりがな)②ご所属をご記入の上、下記メールアドレスまで。
当日参加も歓迎いたしますが、事前にお申込みいただきますよう、お願い申し上げます。

お申込み・お問い合わせ : 立命館大学食総合研究センター事務局

E-mail : syoku@gst.ritsumei.ac.jp

協賛: 和食文化学会